

第1回定例会

・一般質問④

総務福祉・産業文教常任委員会合同の視察（1月31日）の報告が第1回定例会において行われました。



議会ニュース

クリーンセンター視察

委員会レポート



但木早苗 議員

平成30年度町政執行方針について

【質問】平成30年度執行方針をうけて執行方針の中で、65歳以上の高齢化率が38・6%。このうち75歳以上が55%を占め超高齢化社会になっていることが示されています。

執行方針の随所に町長のまじりの考え方として「人に優しいまちづくり・いきいきと安心して暮らせるまちづくり」とあり、高齢者福祉の項目でも住み慣れた地域で生活が続けられるように取り組んでいくことが打ち出されておりあります。

昨年に引き続き計画されている高齢者福祉住宅は居住環境の整備として更に前進するものと考えます。

国保健康保険料の改訂 町保の暮らしへの影響は 町長：…保険税の上昇を 激変緩和措置により抑える

しかし、一方で高齢化率は高くなり、近年高齢者の免許返納の増加も考えられ、居住環境と合わせて公共交通のあり方も考える必要があると思います。

人が交通機関に合わせるのではなく「行きたい時に出かけられる」そういうこと、これからの「安心して住み続けられるまち」の1つの要素となるものではないでしょうか。町長の考えを伺います。

【答弁】（町長）ふれあいバスを開始してから8年となりますが、運行当初と比べてバスの修理や燃料費等の要因で経費が増額になっていきます。もう一つは運転手の確保で、65歳定年を1

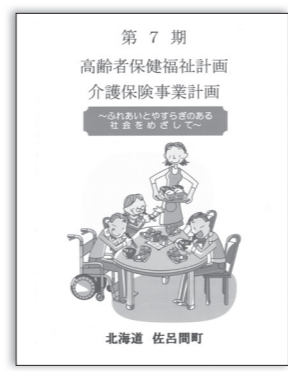
【質問】新年度から第7期介護保険事業をはじめます。それに伴い介護保険料も見直し、介護保険準備基金全てを取り崩し、保険料引き上げを基準額で200円増に抑えたとの

介護保険事業について

【質問】新年度から第7期介護保険事業をはじめます。それに伴い介護保険料も見直し、介護保険準備基金全てを取り崩し、保険料引き上げを基準額で200円増に抑えたとの

年ずつ延ばしながら対応している状況です。

今年から第5期総合計画の策定が始まりますが、その中で町民の皆さんの考え、ふれあいバス、さらには民間の状況も全部把握しながら全て行政がお金を出せば解決するという問題以外に何かいい方法がないか等々を含め検討していきたいと、これを伝えさせていただきます。



第7期 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画表紙

ことですが、今後7期以降さらなる引き上げとならないよう、例えば基準額、区分段階の見直しというも方策と考えますが町の考えを伺います。

【答弁】（町長）町は国が示す9段階標準的な第1号保険の保険料基準を採用していますが、町独自で第2段階の保険料基準を国が示す0・75%を減じて0・625とし年額で6千800円の軽減を行っています。

本町は第1段階から第4段階の低所得者が5割に対し、第6から第9段階の高所得者は3割にとどまっています。今後各町における所得段階の割合などを考慮し、国が示す標準的な基準が適しているのか、或いは多段階方式の弾力化した基準がよいのか見当の上、適切に判断していきたいと考えております。

総務福祉 常任委員会
ごみ焼却施設を視察

1月31日、産業文教常任委員と合同で現地調査を行いました。

これまで一般ごみの焼却については、遠軽町清掃センターのごみ焼却炉を遠軽地区3町で共同利用していましたが、老朽化が激しく、修理費も莫大となることから新たに遠軽地区広域組合によるごみ焼却施設として、「えんがるクリーンセンター」が新設され、昨年12月に完成し、本年1月より供用開始となりました。

新施設の焼却炉は、以前の焼却炉に比べてより高温で焼却が可能となったことから、従前の燃やさないごみの一部が焼却できるようになり、ごみの分別も一部変更となりました。

行政のみならず、ごみを出す我々住民も正しいごみの分

30年2月、30年4月

別と減量化を推進し、この3町共同利用のごみ焼却施設を長く有効活用したいものと思っています。

■2月20日
第1回定例会に向け、平成30年度の主要事業を中心に協議を実施いたしました。

◎協議事項（一部抜粋）
①健康管理システム導入事業について
町民の健康管理体制構築が急務となっている状況を踏まえ導入するもので、住民の健康状態を個人ごと、世帯ごと把握し、検診や保健指導、国保医療情報等を一元的に管理できる総合的な健康管理システムです。

導入効果としては、住民の



大きな扉の向こうでごみ処理が行われている

健康管理だけでなく、国保連合会システムと連動した疾病分類の地域別の分析、各種検診の未受診者を把握し、検診受診の勧奨、効率的で詳細な保管指導に役立てることが可能との説明を受け、本件について協議を行いました。

②高齢者福祉住宅建設事業について
昨年、1棟目の住宅を建設したところ、定員を上回る希望や入居の問い合わせ、また施設見学での大きな反響があり、2棟目を建設するとの説明を受け、本件について協議を行いました。

③佐呂間コミュニティセンター改修工事について
経年劣化による床の汚れ、タイルの破損などが目立ち、一部雨漏りの跡が見受けられる状況から施設の長寿命化を図るため、これらの改修と陸屋根部分の防水工事の他に1階トイレの洋式化など改修工事の内容についての説明を受け、本件について協議を行いました。

※掲載の協議内容の他に31件の案件について協議を行いました。

議会ニュース

- いかがですか 出向き議会懇談会
- 傍聴者の声



平成29年度の議会懇談会の様子

議会活性化等 特別委員会

議会懇談会の 開催内容を協議

1月31日、2月28日、4月10日と議会懇談会の開催内容について協議しました。
委員会では、4月18日に若佐コミセン及び佐呂間コミセンで開催する議会懇談会の進め方について協議したほか、地域に出向き団体等と懇談の機会を設ける「出向き議会懇談会」についても協議をし、その実施内容と周知方法について確認しました。

産業文教 常任委員会

新年度予算に係る 所管事業を調査

■2月19日
第1回定例会に向け、平成30年度の主要事業を中心に調査を実施しました。

◎協議事項（一部抜粋）
①建設課所管事業（土木費）について
道路新設改良費として、若里基線道路整備事業、佐呂間30号道路整備事業、夕陽が丘道路整備事業、佐呂間市街地排水処理事業これら4つの事業を予定しており、交付金事業の採択を受けて継続実施するものや凍害により凍上し早急な整備が必要なもの、適正な対策を講ずる必要はないものなど事業実施の目的や経緯、内容についての説明を受け、本件について協議を行いました。

※掲載の協議内容の他に15件の案件について協議を行いました。



新年度に整備予定の佐呂間30号道路

議会運営委員会

第1回定例会運営について協議を進める

3月6日及び14日、第1回定例会にかかる提出議案等についての協議を行いました。

全員協議会

ごみ処理広域化基本計画を協議

2月20日、遠軽地区広域組合でのごみ処理広域化基本計画について協議しました。
これは、遠軽町、湧別町、本町の3町で、平成30年度からの15年間にかけて、ごみ処理に関する長期的な方針を定めたものです。
また、常任委員会合同で4年に1回実施する道外行政調査の視察希望地の選定について、協議を進めました。

町立診療所に 関する特別委員会

クリニックさろまの 運営状況を聞く

2月28日、平成29年度のクリニックさろまの収支決算見込みについて、報告を受けました。
患者数は昨年度よりは増加とのことでしたが、医療収入の減のため、177万4千円の予算補正を行う旨の説明がありました。医師2名の診療体制のもと、今後とも安定した運営を願うところです。

議会広報 特別委員会

議会だより 114号を編集

3月14日及び4月17日、議会だより114号の掲載内容と、編集業務の分担について協議を行いました。



地域医療の根幹を担うクリニックさろま

いかがですか 出向き 議会懇談会

議会議員が、町民や町内で活動する各種団体のもとへ出向き、懇談・意見交換を実施し、議会活動への理解をより深めていただくことを目的としています。
【開催内容】
町内公共施設等を会場とし、1時間30分程度の懇談を行います。日程は協議の上決定します。
【対象】
10名以上の団体・グループを対象とします。
【お申込み】
開催希望日の概ね1ヶ月前までに、議会事務局へお申し込みください。

※通常の議会懇談会は、本年度は4月18日に若佐コミセン及び佐呂間コミセンで開催することとしています。

傍聴者からの声

多くの町民が傍聴する 議会を願って

さる3月7日に開会された、平成30年佐呂間町議会第1回定例会における一般質問を傍聴させて頂きました。
私には、40代で同年代ということもあり、初当選以来ずっと応援している議員さんがおります。彼は、初当選以来、毎回欠かさず一般質問を行っており、また議題についても、あらゆる視点から問題点を取り上げ、また提言を行っており、そんな彼を応援する気持ちもありまして、急な予定が入らない限りは議会に足を運んでおります。

よくテレビ等で国会中継が放送されている場面がありますが、町議会の議場も、まさしく同じ雰囲気を感じます。一歩中に入ると、張り詰めた緊張感その場を包んでおり、当然私語など許される雰囲気ではありません。もともと入りづらいイメージもあ

り、また平日の昼間の時間帯に開催されるなど時間的制約があるのも事実であるかと思えます。
特に、時間的な制約に関しては、我々住民側ではどうこう出来ない問題であり、事務局を含めた議会全体で考えて頂かないといけない課題であると考えております。

しかし、議場内におられる議員の皆さんは、我々町民の代表として選ばれ、我々の代りに町政を執行するための予算や決算、条例の制定や町が締結する契約などを審議し、その可否を決定する権限を有している「顔見知り」の方々ばかりであります。そう考えますと、議会という場所も我々町民にとって、もっと身近に感じられる存在にならざるを得ないのでしょうか？
前述した様々な環境が整備され、一人でも多くの町民の方々が傍聴されることを願ってやみません。